

第 1 章 競技規則

第 1 条 競技会の名称

Nishiura Championship 2025 もっと速く、自分を超越る！

第 2 条 主催者

伊藤レーシングサービス株式会社

〒444-3441

愛知県岡崎市富尾町字栃田 16 番地

TEL(0564)84-2961

FAX(0564)84-2969

第 3 条 開催場所

スパ西浦モーターパーク

〒443-0105

愛知県蒲郡市西浦町原山 3

TEL(0533)58-1111

FAX(0533)58-1101

コース 1561m

第 4 条 大会各責任者

公式プログラムにて公示する。

第 5 条 参加資格

すべてのクラスにおいてスパ西浦モーターパーク走行ライセンス、又は JAF 競技ライセンス(国内 B 以上)を取得していること。

第 6 条 開催日程

大会	開催日
第 1 戦	2025年1月2日(木)～2025年1月31日(金)
第 2 戦	2025年2月1日(土)～2025年2月28日(金)
第 3 戦	2025年3月9日(日)

※第 1 戦、第 2 戦は、期間中のフリー走行日(専有貸切日以外)での開催とする。

※1月12日(日)午後と2月9日(日)午後は、フリー走行確約日とする。

第 7 条 参加申込先／期間

日程	大会	申込開始日	申込締切日	参加申込先
2025年1月2日(木)～ 1月31日(金)	第1戦	2024年 12月 1日(日)	2024年 12月 20日(金)	〒443-0105 愛知県蒲郡市西浦町原山3 スバ西浦モーターパーク 事務局 TEL(0533)58-1111
2025年2月1日(土)～ 2月28日(金)	第2戦	2025年 1月 2日(木)	2025年 1月 20日(月)	
2025年3月9日(日)	第3戦	2025年 2月 1日(土)	2025年 2月 23日(日)	

第 8 条 参加申込み

- 1、大会主催者に所定の方法にて申込むものとする。全てのドライバーは捺印した誓約書を提出しなければならない。Web 受付の場合は、誓約内容に同意したものとし、捺印した誓約書の提出は無しで良い事とする。
- 2、参加申込期間は、第7条で記すとおりとする。
- 3、参加申込みは、現金書留、銀行振込み又は直接持参(専有貸切日以外の営業時間内)での申込みとする。
- 4、18歳未満のドライバーは、誓約書(承諾書)に親権者又は保護者の署名と実印の捺印を必要とする。
- 5、参加申込者に対しては、締め切り後、大会事務局より参加受理又は、参加拒否が通知される。参加を拒否された申込者に対して、参加料が返還される。

(但し、振込手数料を差し引く。)

参加申込み後、参加を取り消す申込者に参加料は返還されない。但し、申込み台数が4台に満たない場合で、賞典外でのタイムアタック参加を希望しない場合は、事務局による通知から 3 日以内での申し出により、参加料は返還され、参加の取り消しとする。(但し、事務手数料として2, 200円を差し引く。)

第 9 条 参加受理書

- 1、参加申込みが正式に受理された参加者には、参加受理書が大会事務局より送付される。
- 2、交付された参加受理書は他に貸与したり転用したりしてはならない。貸与、転用した場合、また複製等不正使用した場合は1件につき罰金1万円を科す。
- 3、参加受理書を紛失または破損した時は、事務局に再発行の手続きをとり、再交付を受ける事。ただし、再交付手数料として550円を必要とする。

第 10 条 参加料とスポーツ安全保険料

全クラス	参加料金	スポーツ安全保険金
第1戦	13, 200円	1, 850円
第2戦	13, 200円	
第3戦	16, 500円	

(税込)

※第1戦、第2戦の参加料には、大会参加費、計測器使用料、ピット使用料と1回目の入場料・走行料が含まれる。大会期間中、複数回走行し、ベストタイムを大会記録として申請することは可能だが、2回目以降の

入場料と走行料は別途支払いとする。

第 11 条 参加受付（書類審査）

参加受付時に下記の書類を提示もしくは提出しなければならない。不備のある場合は参加を認めない。

第1戦、第2戦においては、毎回走行日時の予約をし、初回のタイム計測日に提示もしくは提出すること。

- ① 参加受理書
- ② 車両仕様書
- ③ スパ西浦モーターパーク走行ライセンス、又は JAF 競技ライセンス(国内 B 以上)
- ④ ドライバーズプロフィール
- ⑤ その他 主催者が指定したもの

※事前に Web にて②④を提出している場合は、①③⑤のみ提出すること。

第1戦、第2戦における走行日時の予約方法は、フリー走行と同様とし、その際 Nishiura Championship の為の計測を行う旨を伝えること。

第 12 条 参加車両

1、音量規定

スパ西浦モーターパークが定める音量規定値をオーバーしている車両は参加を認められない。

走行中の音量規定値は、95dB 未満とする。

2、車両規則は、別紙の技術仕様・車両規則に適合していなくてはならない。

第 13 条 トランスポンダーの装着

1、全ての参加者は、主催者が用意したトランスポンダーを車検時まで装着し、練習走行、タイムアタックを通じ装着していなければならない。

2、トランスポンダーの配布は、選手受付時に行い、返却については第1戦、第2戦は、走行終了後 30 分以内、第3戦は、表彰式終了後 30 分以内とする。

3、取付け方法と場所について

車内で地面から1m以内の場所に取り付ける。テープで必ず固定すること。計測できない場合は、スタッフの指示のもと、取り付け位置の変更をすること。

4、レンタルポンドーとマイポンドー(AMB 製)との併用は禁止とする。

第 14-1条 第1戦、第2戦 車両検査

1、参加車両の公式車両検査/車両チェックは、受付終了後からブリーフィング開始前の時間に、各自のピットにて行う。

2、公式車両検査を受けない車両、あるいは検査の結果、参加が不相当と判断された車両は、タイムアタックへの出場が拒否される。

- 3、参加申込み時点の車両やタイヤが当日変更になる場合は、必ず参加受付時に報告しなければならない、変更後の車両規定に合ったクラス、タイヤのペナルティ加算で参加可能とする。
賞典の制限は変更前の台数を基に定められるとするが、シリーズポイントは変更後の台数を基に与えられるものとする。
- 4、ドライバーが競技中に着用しなければならないものとして車両検査の際、検査員によって点検を受けるものは、以下の通りである。
 - ① ヘルメット
(フルフェイス型又はジェット型。)
 - ② レーシングシューズ又は、運転に適した靴
 - ③ レーシンググローブ又は、難燃性グローブ
 - ④ レーシングスーツ、又は長袖・長ズボン

第 14-2条 第3戦 車両検査

- 1、参加車両の公式車両検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールに従って各自ピットで行う。
ドライバーの装備品検査は、練習走行コースイン前に各自ピットで行う。
- 2、公式車両検査を受けない車両、あるいは検査の結果、参加が不適当と判断された車両は、タイムアタックへの出場が拒否される。
- 3、参加申込み時点の車両が当日変更になる場合は、必ず参加受付時に報告しなければならない、変更後の車両規定に合ったクラスで参加可能とする。賞典の制限は変更前の台数を基に定められるとするが、シリーズポイントは変更後の台数を基に与えられるものとする。
練習走行後の車両検査受付にて、車両仕様書を提出し、コピーを持って車両検査を受けること。
車両仕様書提出時には、使用タイヤとスペアタイヤ(ハンディキャップ加算同秒のもの)を確定し、車両チェックを受けなければならない。
車両チェックを受けたタイヤのハンディキャップ加算は、公式掲示板に掲示されるので、必ず確認すること。
車両チェック後にタイヤ変更を希望する場合(バーストなどの破損時のみ)は、即オフィシャルに申し出ること。
変更後のタイヤのペナルティ加算が反映され、全参加者へ告知される。
車両チェック後の雨天により安全上の理由でタイヤ変更する場合は、必ず指定時間内にオフィシャルに申し出ること。再度タイヤ変更後のハンディキャップが反映されるので、公式掲示板を確認すること。
- 4、ドライバーが競技中に着用しなければならないものとして車両検査の際、検査員によって点検を受けるものは、以下の通りである。
 - ① ヘルメット
(フルフェイス型又はジェット型。)
 - ② レーシングシューズ又は、運転に適した靴
 - ③ レーシンググローブ又は、難燃性グローブ
 - ④ レーシングスーツ、又は長袖・長ズボン

第 15 条 ピット・パドックの使用

- 1、 練習走行時、タイムアタック時の使用ピットは、事務局によって割り当てられる。
- 2、 ピット内でタバコ等の火気を取り扱わないこと。
- 3、 ピット使用後は責任をもって清掃し、ゴミは全て持ち帰ること。
- 4、 スパ西浦モーターパーク場内においての、通行、駐車、行動の指示は案内標識やオフィシャルの指示に従わなければならない。

第 16 条 ピットインおよびピットアウト

- 1、 ピットロードの制限速度は40km/h以下とする。違反した場合は罰則を科す場合がある。
- 2、 ピットインする車両は、T7コーナーを通過してからコース左側に車両を寄せ、安全確認をしながら白線の内側を走行し、ピットロードに進入しなければならない。
- 3、 ピットレーン(アスファルト)では、制限速度40km/h以下とする。
- 4、 ピット前エリア(コンクリート)は、ピット作業を行う為の部分であり、車両停車を行う場所である。
よって、ピットレーンから各自ピット前への移動は、最短距離で行うこと。
- 5、 ピット出口シグナルについて
 - ① レッドライトが点灯中はコースインしてはならない。
 - ② グリーンライト点灯時のみ、コースインすることができる。
 - ③ グリーンライト点灯とイエローライトの点滅はストレート走行車両の存在を知らせ、コースインの際の注意を促すものである。練習及びタイムアタック時に使用される。
コースインは、走行車両との合流に対し、最大の注意を払い、各自の責任において行われなければならない。
- 6、 ピットアウトして、コースインするドライバーはT2コーナーを通過するまでコース左側を沿って走行しなければならない。後方から近づく車両の走行の妨げになってはならない。

第 17-1条 第1戦、第2戦 タイムアタック

- 1、 タイムアタックは、大会開催期間内のフリー走行4輪正回り枠(50分)で行われる。期間内であれば、何度でも走行し、タイム申請可能とする。
- 2、 タイムアタック計測時間は、フリー走行のルールに基づき、ウォーミングアップ走行時間とクールダウン走行時間を除いた時間内で、練習走行とタイムアタックを行う。
- 3、 計測ラインは、管制棟前の白線とする。
- 4、 走行開始時刻に沿ってスタートし、定められた時間内であれば走行を中断し、また再スタートすることが出来る。何らかの理由により中断された場合、残り時間分のタイムアタックを再開するが、必要に応じて大会組織委員会が時間の短縮や延長を決定することができる。

- 5、使用するタイヤにより、ハンディキャップを設定する。ノーマルタイヤ使用の場合は、ハンディキャップ無し。スポーツラジアルタイヤを使用の場合は、ラップタイムに2秒加算。S タイヤ使用の場合は、ラップタイムに3秒加算。基本的には、メーカーの販売定義に合わせるが、スポーツラジアルタイヤにかなり近いノーマルタイヤや、S タイヤにかなり近いスポーツラジアルタイヤについては、大会組織委員会の判断によりハンディキャップの設定を行う。
- 6、各クラス出走台数は以下の通りとする。

クラス	軽自動車クラス	1, 600cc以下クラス	2, 000cc未満クラス	2, 000cc以上 オープンクラス
出走台数	20台	20台	20台	20台

各クラス5台に満たない場合は、クラスでの賞は賞典外とするが、特別賞への授与権利とシリーズポイントは与えられる。

- 7、車両検査後に車両変更、タイヤ変更(車両仕様書に記載のスペアタイヤであれば対象外)があった場合は、賞典外とする。

第 17-2条 第3戦 タイムアタック

- 1、タイムアタックは、原則として各クラス別に行われる。
- 2、タイムアタック計測時間は15分(変更あり)×2回とし、練習走行時間はエントリー台数によって決定する。
- 3、計測ラインは、管制棟前の白線とする。
- 4、タイムスケジュールに沿ってスタートし、定められた時間内であれば走行を中断し、また再スタートすることが出来る。何らかの理由により中断された場合、残り時間分のタイムアタックを再開するが、必要に応じて大会組織委員会が時間の短縮や延長を決定することができる。
- 5、使用するタイヤにより、ハンディキャップを設定する。ノーマルタイヤ使用の場合は、ハンディキャップ無し。スポーツラジアルタイヤを使用の場合は、ラップタイムに2秒加算。S タイヤ使用の場合は、ラップタイムに3秒加算。基本的には、メーカーの販売定義に合わせるが、スポーツラジアルタイヤにかなり近いノーマルタイヤや、S タイヤにかなり近いスポーツラジアルタイヤについては、大会組織委員会の判断によりハンディキャップの設定を行う。
- 5、各クラス、最終順位を決めるトライアルを行う。基本的には予選順位の上位から3台ずつ区切り、タイムアタックを行うが、参加台数によって変更する場合がある。
出走順は、予選順位の下位から行う。参加台数によって変更する場合がある。
1周(コースインラップ1周、ピットインラップ1周を含む3周走行)のラップタイムで、順位を決定する。
- 6、各クラス出走台数は以下の通りとする。

クラス	軽自動車クラス	1, 600cc以下クラス	2, 000cc未満クラス	2, 000cc以上 オープンクラス
出走台数	20台	20台	20台	20台

各クラス4台に満たない場合は、クラスでの賞は賞典外とするが、特別賞への授与権利とシリーズポイントは与えられる。

- 7、 車両検査後に車両変更、タイヤ変更(車両仕様書に記載のスペアタイヤであれば対象外)があった場合は、賞典外とする。

第 18 条 参加者の厳守事項

- 1、 参加者は、申込みをする際、競技規則・車両規則を確認し、並びに出場する大会の前日にブルテンにて規則の変更や追加の確認をしなければならない。
- 2、 喫煙所以外での喫煙は厳禁とする。
- 3、 ゴミ・廃油等は、必ず持ち帰ること。
- 4、 参加者は、主催者や大会後援者、及びレース参加者の名誉を傷つけるような言動をしてはならない。
- 5、 参加者は、スポーツマンシップに則り行動しなければならない。

第 19 条 走行中の厳守事項

- 1、 スロー走行車は後方の安全を十分に確認し、合図をしながら基本的にはコース左側を走行する。また、著しくスピードが落ちている場合は速やかにコースアウトして安全な場所に車両を止めなければならない。
- 2、 オイル漏れ等による車両トラブルでオレンジボールが掲示された車両は、速やかに安全な場所に車両を止めなければならない。
- 3、 サーキット走行における規則を遵守すること。

第 20 条 賞典

賞典は、以下のように設定する。

順位	賞典内容
優勝	トロフィー／副賞
2位	トロフィー／副賞
3位	トロフィー／副賞

特別賞として、シリーズを通し参加者自身のタイムが、前回、前々回より0.5 秒早かった場合、副賞が授与される。

但し、車両の変更(改造も含む)やタイヤの変更が無い場合のみ、この賞が適応される。

第 21 条 シリーズランキング

- 1、 次の表のとおり各クラスの入賞者に1戦ごとにポイントが与えられ、シリーズで得た全ての得点を合計し、総合得点の多い者から順位を決定する。上位6位までのドライバーには、シリーズ賞が与えられる。

出走台数 順位	19	17	15	13	11	9	7	4	2
	~ 20	~ 18	~ 16	~ 14	~ 12	~ 10	~ 8	~ 6	~ 3
1位	20	20	20	20	20	20	20	10	5
2位	17	17	17	17	17	17	17	9	4
3位	15	15	15	15	15	15	15	8	3
4位	13	13	13	13	13	13	13	7	
5位	11	11	11	11	11	11	11	6	
6位	10	10	10	10	10	10	10	5	
7位	9	9	9	9	9	9	9		
8位	8	8	8	8	8	8	8		
9位	7	7	7	7	7	7			
10位	6	6	6	6	6	6			
11位	5	5	5	5	5				
12位	4	4	4	4	4				
13位	3	3	3	3					
14位	2	2	2	2					
15位~	1	1	1						

- 2、 総合得点と同点の場合、6位までの入賞回数の多い者を上位とする。
 3、 上記2で決定出来ない場合、各クラスの最終戦の順位が上の者を上位とする。
 4、 上記3でも決定出来ない場合、大会組織委員会において決定する。
 5、 各クラスのシリーズチャンピオンとなった者は、翌年の第1戦は招待選手とし、賞典外とする。
 6、 シリーズ中に車両変更があった場合のシリーズポイントは、既に獲得しているポイントには加算されないものとする。
 7、 シリーズ賞典

順位	賞典	
チャンピオン	トロフィー	副賞
2位	トロフィー	副賞
3位	トロフィー	副賞
4位		副賞
5位		副賞
6位		副賞

※年間を通しての各クラス参加台数によって、賞典対象の制限を行う。賞典対象制限は、大会組織委員会により決定される。

第 22 条 負傷時の医務室受診義務

負傷した際は、必ずサーキット内医務室の診断を受けなければならない。

- ・ 負傷時の最寄りの病院
 - ① 蒲郡市民病院
 - ② 安城更生病院
 - ③ 豊橋市民病院

第 23 条 主催者の権限

主催者は、以下の権限を有するものとする。

- 1、 参加申込みの受け付けに際して、その理由を示すことなく参加を拒むことができる。
- 2、 主催者が必要と認めた場合、ドライバーに対し指定医師による健康診断書の提出を要求し、健康上の理由による競技出場の可否を最終的に決定することができる。
- 3、 ゼッケン番号の指定、ピットの割り当て等にあたり、各参加者の優先順位を決定することができる。
- 4、 すべての参加者、ドライバーの肖像権及びその参加車両の音声、写真、映像など、報道、放送、放映、出版に関する権限を有し、この権限を第三者が使用することを許可することができる。
- 5、 公序良俗に反する言動がある参加者に対しては、受付後であっても参加を拒否することができる。
- 6、 保安上又は不可抗力による特別の事情が生じた場合、主催者の判断によりイベントの延期、中止、タイムアタック時間の変更を決定することができる。
- 7、 各クラスにおいて申込み台数が10台に満たない場合は、他のクラスとの混走とし開催とする。
また、申込み台数が5台に満たない場合は、そのクラスを取りやめることができる。
ターボ車、チューニング車は、原則として1排気量上のクラスでの参加とするが、台数に応じてクラスの増設もある。
- 8、 今シーズンの各クラスの開催状況に応じて、来シーズンの開催の有無を決定することができる。